

こどもの家庭内事故に気をつけよう

お子様が過ごすご家庭で危険なところはありませんか？おとなの想像以上にこどもは好奇心旺盛です。家庭内の安全をもう一度考えてみませんか。



触る、挟む、ぶつかる、
やけど、溺れる、跳ぶ

落ちる、食べる、飲む、
ひっかける、きる、転ぶ

注 意 ポ イ ン ト

- こどもの手に届くところや見えるところに危険なものを置かない（安全柵の設置）
- 紐やコンセントに注意
- 窓やドアの施錠（補助錠やストッパーなどの工夫）
- 短時間でも乳幼児を留守番させない
- 窓やベランダ近くに踏み台になるような物を置かない
- 使った後は片づける
- こどもの発達特性、行動を理解する
- 対象の月齢や年齢に合ったものを選ぶ
- その他



参 考



こども家庭庁
「こどもの事故防止ハンドブック」



政府広報オンライン
「子育て・教育のトラブル」



厚生労働省
「子ども医療電話相談#8000について」

相 談 先

児童相談所虐待対応ダイヤル
☎189（いちはやく）
小山市こども家庭センター
☎0285-22-9626

R6年度チラシ作成：小山市こども家庭センター